

【グループワークの手引き】

「日本村」の予算を作ろう！

© vector banner

グループワーク内容

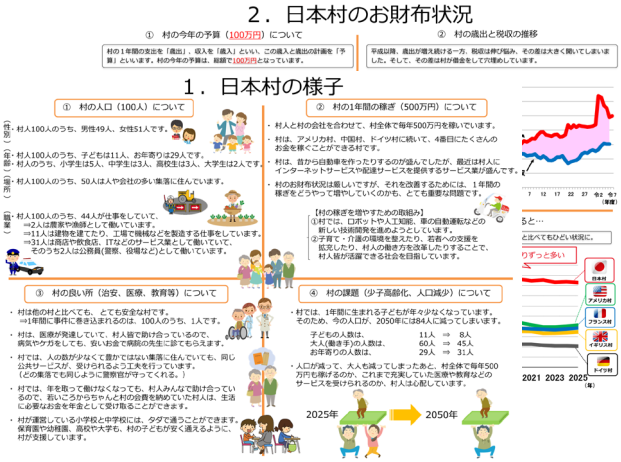
みなさんは、村人から選ばれた村の役員です。
「みんなからどのようにお金を集めて、そのお金をどう使えば、この村の未来を良くできるのか」を考えて、来年の村の予算を作りましょう！

配布資料リスト

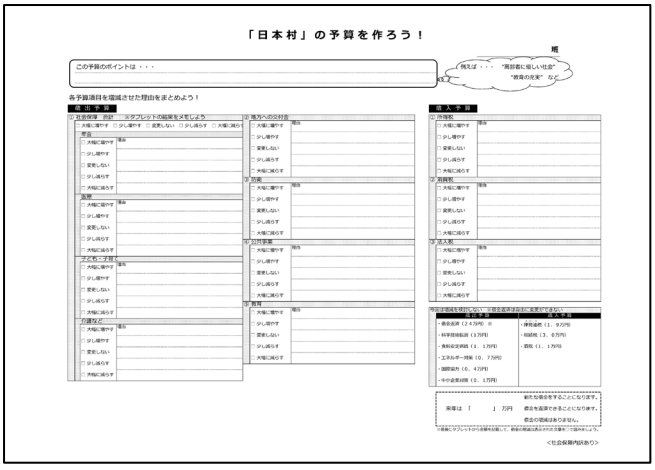


☑ ①グループワークの手引き(P1～9)
※1人1部ずつ

☑ ②日本村の概要（２枚）
※1人1部ずつ



☑ ③ワークシート（１枚）
※1グループ1部ずつ



タブレットを使って、「日本村」の予算を作ろう！

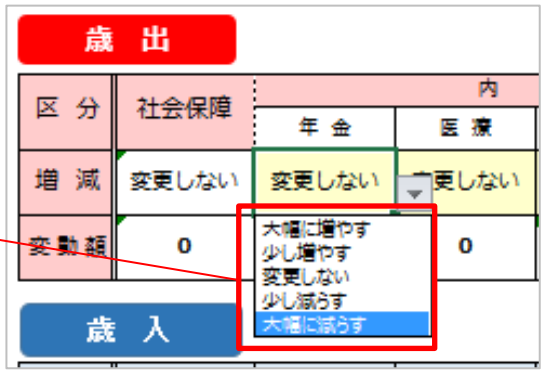
1．タブレットでファイルの入力画面を開く

色のついたマスを選択すると表示される、
▼　のボタンを押すと

大幅に増やす
少し増やす
変更しない
少し減らす
大幅に減らす

と5つの選択肢が表示される。

入力画面



2．班のみんなで話し合って、選択肢を決めよう

以下の項目の選択肢を決める。

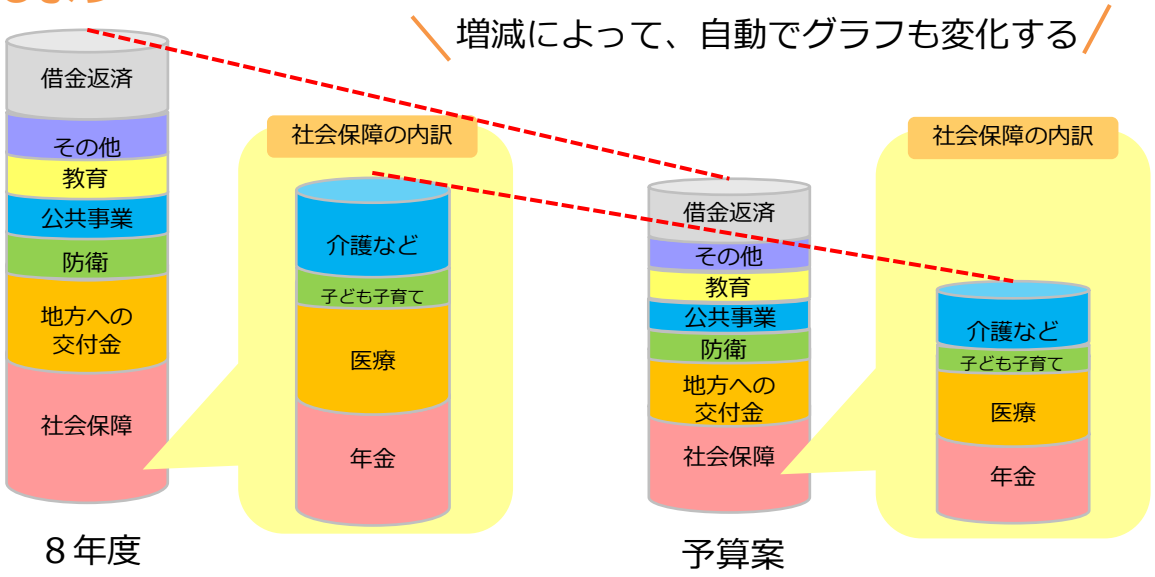
歳出
- ①社会保障・・・・・・3ページ
- ②地方への交付金・・・4ページ
- ③防衛・・・・・・・・5ページ
- ④公共事業・・・・・・5ページ
- ⑤教育・・・・・・・・6ページ

歳入
- ⑦所得税・・・・・・・8ページ
- ⑧消費税・・・・・・・8ページ
- ⑨法人税・・・・・・・8ページ

3．タブレットの入力が終わると、自動で下のグラフが作成されるので、内容を確認しよう

出力画面

増減によって、自動でグラフも変化する



8年度　　予算案

4．出来上がった予算について、班で話し合おう

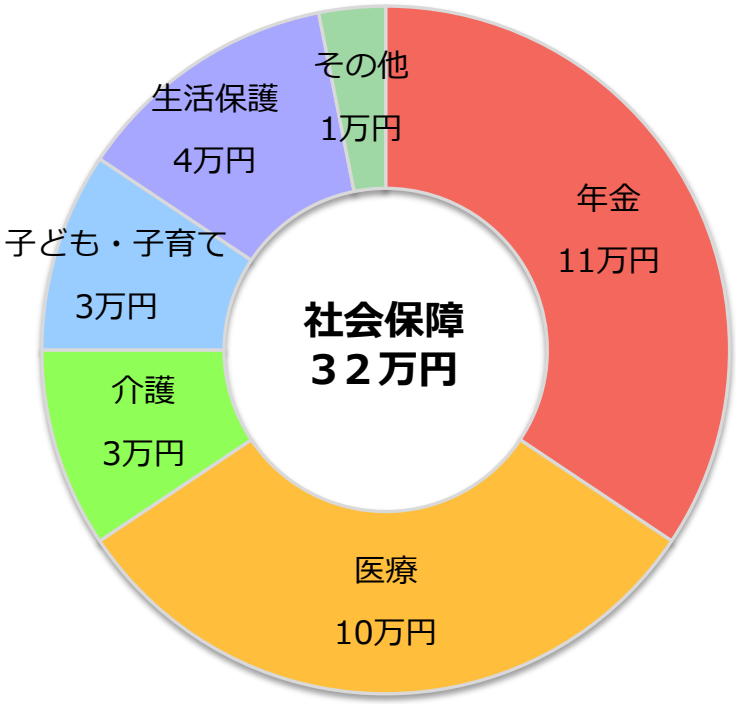
（お金の使い方は問題ないか、この予算で日本村の未来は良くなるかなど）

⚠ 注意事項

・話し合いをするときは、班の意見をワークシートに記録しながら進めよう。

・いくつかの班に発表してもらうので、発表の時は、誰が何を話すのか決めよう。
(例)
「それぞれの項目をどうして、増やしたのか、今までどおりにしたのか、減らしたのか」
「どうやって、日本村の将来を良くしていきたいと思うか。」

①社会保障（３２万円）











●年金　主に65歳以上の高齢者に対してお金を給付し、仕事が出来なくなった後の生活を支援するためのお金

●医療　ケガや病気をした時に、病院で先生に診てもらったり、薬をもらったりするためのお金（かかったお金の30%以下で済む）

●介護　年を取ったり、障がいによって、自分１人で生活を送れなくなってしまった場合に、生活を助けてもらうサービスを受けるためのお金（かかったお金の10%で済む）

●子ども・子育て　子育てにかかるお金を支援したり、保育園を建てたり、子育てをしやすくなるようにするためのお金

●生活保護　ケガや病気で働けず生活に困っている人が、生活できるようにするためのお金

②地方への交付金(１７万円)

・村の集落ごとに、会社や人の数にも差があり、集まる会費も違う。
・どの地域に住んでいても、警察や消防の活動、ごみ収集などの必要最低限のサービスを受けられるようにするためのお金。

村

地方への交付金 小

(会社や人が多く、)
豊かな集落

地方への交付金 大

(会社や人が少なく、)
豊かでない集落

村のどこでも、必要最低限の行政サービスを提供

・警察、消防
・ごみ収集
・学校の運営
・医療、介護サービス
・生活保護
・子育て支援

など







歳 出

③防衛（７万円）

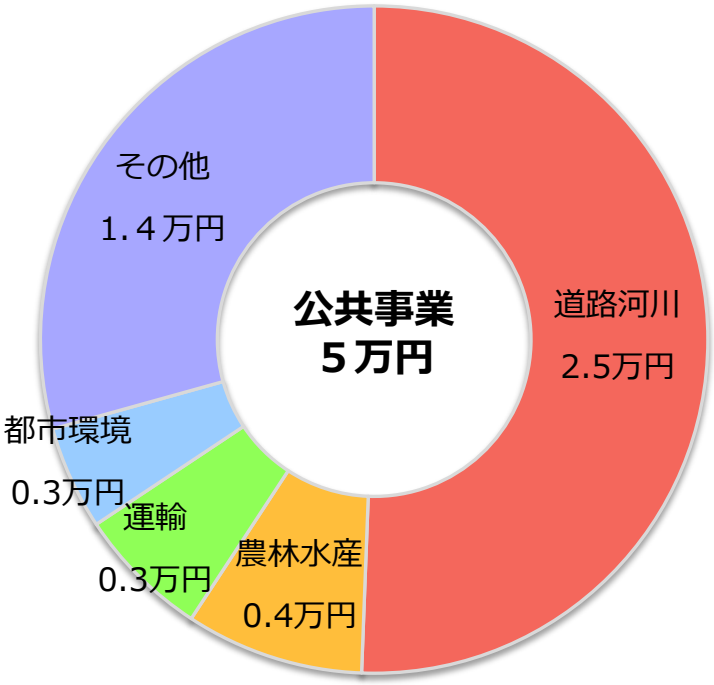
自衛隊を運営するためのお金。大規模災害への対応や外国の攻撃から日本を守るために必要な装備を買うためのお金。また、自衛隊員のお給料。

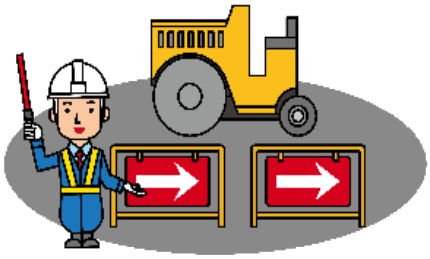


（主な具体例）

① 日本周辺の監視　　：　ヘリコプター、護衛艦、潜水艦など
② 大規模災害への対応　：　輸送機や水陸両用車の取得
③ 米軍基地への対応　　：　米軍基地の運営、周辺の防音対策

④公共事業（５万円）







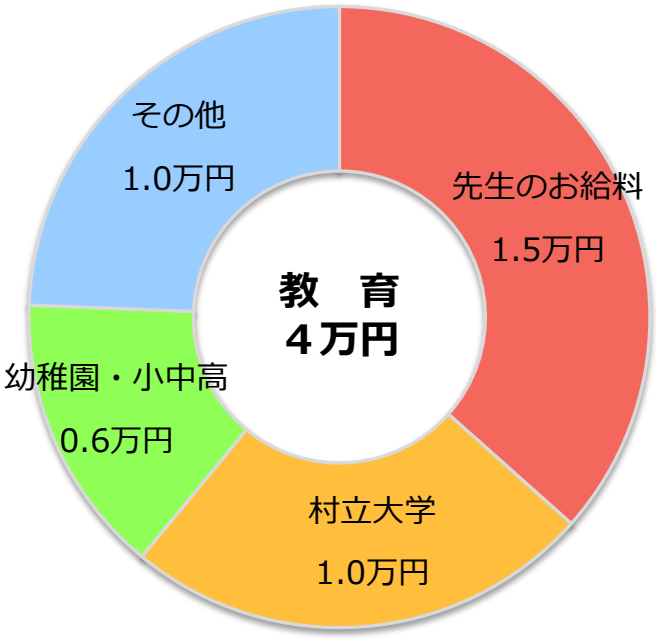
●道路河川　　道路や河川の工事や、老朽化対策に必要なお金

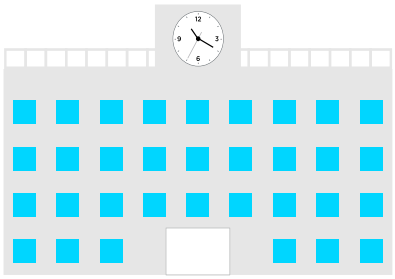
●農林水産　　農業、林業、漁業の施設整備に必要なお金

●運輸　　港湾、空港、鉄道などの運輸施設の整備に必要なお金

●都市環境　　住宅や水道の整備に必要なお金

⑤教育（４万円）







●先生のお給料　　小学校と中学校の先生のお給料

●村立大学　　村立大学の教育・研究・施設整備を支援するためのお金

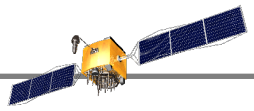
●幼稚園・小中高　　幼稚園、小学校、中学校、高校における教育や施設整備を支援するためのお金

●その他　　私立学校を支援するためのお金や、平等に教育を受ける支援をするためのお金　など

その他 ※今回は、増減を検討しない。

●科学技術振興（１万円）

人工衛星を飛ばすためのロケット開発や、新しいエネルギーの開発など、科学技術の発展のために使われるお金



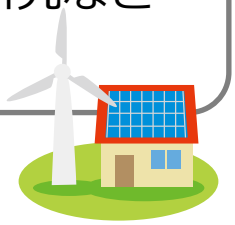
●食料安定供給（１.１万円）

おいしい農産物を食卓に安定的に届けたり、農業の生産性を高めるために必要なお金



●エネルギー対策（０.７万円）

再生可能エネルギーや省エネルギーを推進するための技術の開発、石油・天然ガス・石炭を安定的に供給するための調査や研究などに必要なお金



●国際協力（０.５万円）

開発途上国における橋や道路の整備、開発途上国の子供達に医療や教育を提供するための病院や学校の建設に必要なお金



●中小企業対策（０.２万円）

後継者不足や経営に苦しむ中小企業に対し、生産性の向上、経営支援の強化、資金調達の支援などを行うために必要なお金

借金返済（２６万円）

過去の借金返済にあてるお金。すでに返す時期や金額も決まっているので、自由に増額・減額させることができない。

①所得税

給料等から払う

所得税（２１万円）



②消費税

買い物をするときに払う

消費税（２２万円）



③法人税

利益を出した会社が払う

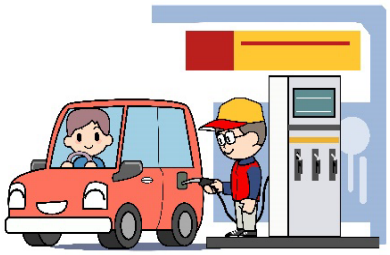
法人税（17万円）



その他の税金（9万円）※今回は、増減を検討しない。

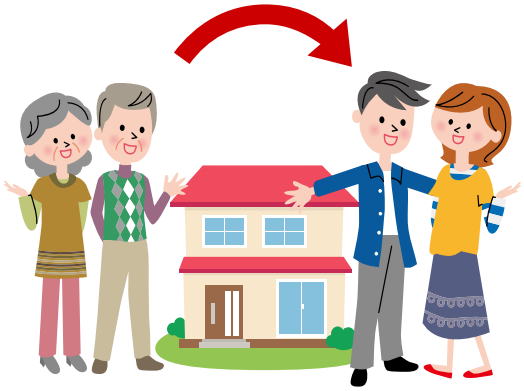
ガソリンを買うときに払う

揮発油（きはつゆ）税（1.0万円）



財産を相続するときに払う

相続税（3.0万円）



お酒を買うときに払う

酒税（1.0万円）



新たな借金（２４万円）

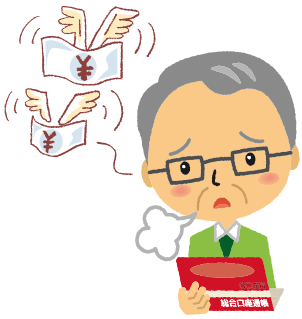
歳出合計 － 税金などの合計 ＝ 新たな借金

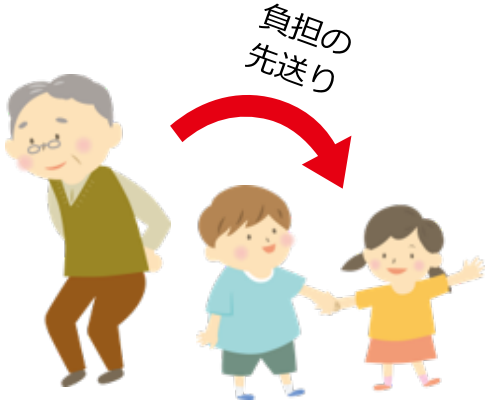
このまま借金を重ねていくと・・・

問題点 1

将来の公共サービスへの支出が減少

借金を返済するために、将来の国民が受け取れる公共サービスが減少したり、負担が増加するおそれがあります。





問題点 2

財政の余力（ゆとり）が少なくなる

借金がふくらむと、自由に使えるお金が少なくなり、災害などでお金が必要となった場合に、すぐに対応できなくなってしまうおそれがあります。